

# THE SHOIN TIMES

“Uganda Project Part 2” - Wednesday, October 19, 2018

## 文房具がウガンダの児童と樟蔭生の心を繋ぐ

### 樟蔭の心がみんなの手に

先日の The SHOIN Times で、「ウガンダプロジェクト」の一環で樟蔭生の要らなくなった文房具をウガンダの友達に送ってあげようという企画について、樟蔭生の好意で集まった文房具が8月23日にウガンダ共和国のオビヤ小学校（女子小学校）に寄贈されたというニュースをお届けしました。今回は「樟蔭生から送っていただいた文房具が生徒さんの手に届きました！」という連絡がありましたので、ご報告します。見覚えのある文房具があるかもしれませんね。



### 教育環境はまだまだ厳しい

日本のように義務教育のシステムはありませんが、全ての児童に学校に行くようにウガンダ政府は推進しています。その政策の1つとして学費が無料ということもあり、現在はほとんどの児童が通えています。ところが、教室には60人くらいの生徒が入り、手厚い授業を受けることはできていない現状、教科書や教材は不足し、図書館がないため多くの読み物に触れることができていません。制服代を学校に払えないため教室に入れてもらえない児童も少なくはないとのこと。樟蔭生の心が学びたくても学べない児童の手助けになったのであれば非常に喜ばしいことです。

### ウガンダの教育システムは？

ウガンダでは6歳から小学校に7年間に通います。小学校卒業試験（国家試験）に合格できなければ卒業できません。もし、不合格の場合にはもう1年間勉強し直すか、そのまま退学することになります。中学校は4年間で高校は2年間です。それぞれ卒業の時には卒業試験（国家試験）があり、合格すれば卒業です。大学は日本と同じ4年間の制度です。また、小学校に入る前には幼稚園のような幼児教育施設があります。近年、教育に力を入れていて多くの幼児教育施設が建てられ、通えるようになった児童が増えています。



学校法人 樟蔭学園

樟蔭中学校・高等学校